

株式会社近藤溶工

知り合いから昔の機械を引き取りました。昔の機械はよう出来てます。今のマシンでは応用がきかない部分を補えるんです。

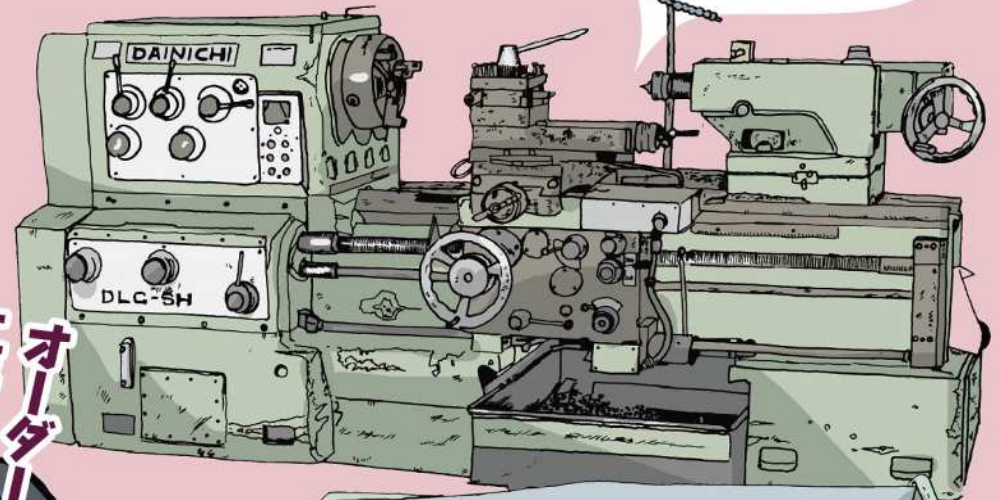
父が50年前に溶接業で創業。僕ともう1名、20代のスタッフがメインで動き、現会長である父もサポートしてくれています。妻は経理面と、家族経営でがんばっています。大きなサイクロンや小さな部品、ジャンルにとられないものづくりを手がけています。自社で製作した製品は取付まで行うことで、補修工事やメンテナンスまでも対応。案件には企画段階から関わり、構想図から提案しながら修正し展開、切断、溶接して形を作り上げます。決まったものを作るわけではないので、日々、変化があるのがおもしろいですね。

願うような営業はしません。それよりも、一番いいのは取引先になりそうな他業者が出入りする現場で、施工工事を展示会のように位置づけパフォーマンスを見せることです。作業の手際や安全確認、道具を取りに行く時も走っていくなど、ちょっとしたことも大事。クオリティの高いものづくりとパフォーマンスが、うちの強味ですね。

1964年創業
近藤溶工
代表取締役 近藤靖人

オーダーメイドの製品をメインに
うちの強味

代表取締役近藤靖人さん



工場の停止期間中に、安全を確認しながら取付けを完了させる。炉に火が入った瞬間にトラブルがおこらないよう、トラブルをイメージしながら現場での対応も必要。



オーダーメイドで製作する 大型金物取り付けまで行う

近藤溶工が製造するのは、工場に取り付けられる大型の金物。たとえば、排気音を低減するサイレンサーや製造過程で発生する粉じんなどを処理する集塵ダクト・サイクロン・ロータリーキルンなどの工業設備。すべて量産品や既製品ではなく、各工場の要望に合わせ、オーダーメイド的に作り上げる。そのため、お客様がもとめるもの、品質、納期などを細かくヒアリング。たとえば、「溶解炉の煙の量と集塵機が合っていないので、こんな形のものをつくってほしい」といった要望。オーダーメイドの大型製品なので簡単に作り直しができないので、何度も話し合いを重ね、形を決めていく。その後、図面の補足や修正、製作、完成品の取り付けまで一貫して請け負う。

取り付け時には、毎日、危険予知表を作成。これは、据付工事に限らず協力会社のスタッフのサポートが不可欠なため、作業効率と安全管理を重視。その日に行う作業の工程確認、もしも出火した場合の消火体制といった危険予測としての行動イメージなどを記入。それを、現場に関わる全員で共有する。事故をゼロに防ぐ徹底した行動管理や安全確認など、お客様からの評価は高い。

かつては、炉製造会社の下請けだったが、仕事が激減。その経験から、お客様にとって魅力的な付加価値を付けること。それが、取り付け工事だった。取り付け用の設備も用意し、工場の停止時間を最小限におさえた現地溶接工事を実現。ものづくりだけでなく、アフターフォロー、安全への配慮という総合的な評価が、同社が選ばれる理由だと言える。

株式会社近藤溶工

http://kondo-yk.com/
〒544-0012 大阪市生野区巽西4-10-20
TEL 06-6757-8684 FAX 06-6757-8694

事業内容 / 各種製缶加工、プラント関連付帯金物製作、建築金物製作・一般溶接、据付・改造・補修・解体工事請負

我が社の 自慢

大阪 ものづくり 優良企業賞を受賞

熟練の技や高い技術を持つ大阪のものづくり中小企業に与えられる賞を2015年に受賞。大阪を代表する「匠」企業として認定されている。

イメメンの滝川さん。
若い世代、
職人のふるまひから
その信頼が伝わってくる。

生産に際し、
自社で対応できない
工程は、庫内の設備と
技術を持つせいの
協力会社に依頼。
その点からも生野は
地域でなくとも
そのノウハウを
企業体制を
組ませます。

